

景気ウォッチャー調査 (沖縄地域) ～2024年6月調査～

〔梅雨明けによる人流回復と、
物価上昇や人手不足への懸念〕

一般財団法人 南西地域産業活性化センター
メールマガジン

用語の説明

- **景気ウォッチャー調査**：地域の景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々から、顧客の様子など日々感じている街角の景気について、毎月調べている調査。
- **DI値**：生産や消費、物価などの景気変動に関する複数の指標から、景気 directional 性や各経済分野への波及度合いを示す。値が50を上回る期間が多いと景気が好調傾向にあり、50を下回る期間が多いと不調傾向にある。
- **季節調整値**：季節的な要因で毎年同じような動きをするもの（夏にアイスクリームが沢山売れるなど）があることから、前月や前々月と比較する際に季節的な要因を除いた数値。
- **現状判断**：3か月前の景気状況と比較した、今月の身の回りの景気具体的な状況などの説明。
- **先行き判断**：2～3か月先の身の回りの景気を今月の景気と比較した際の判断理由。

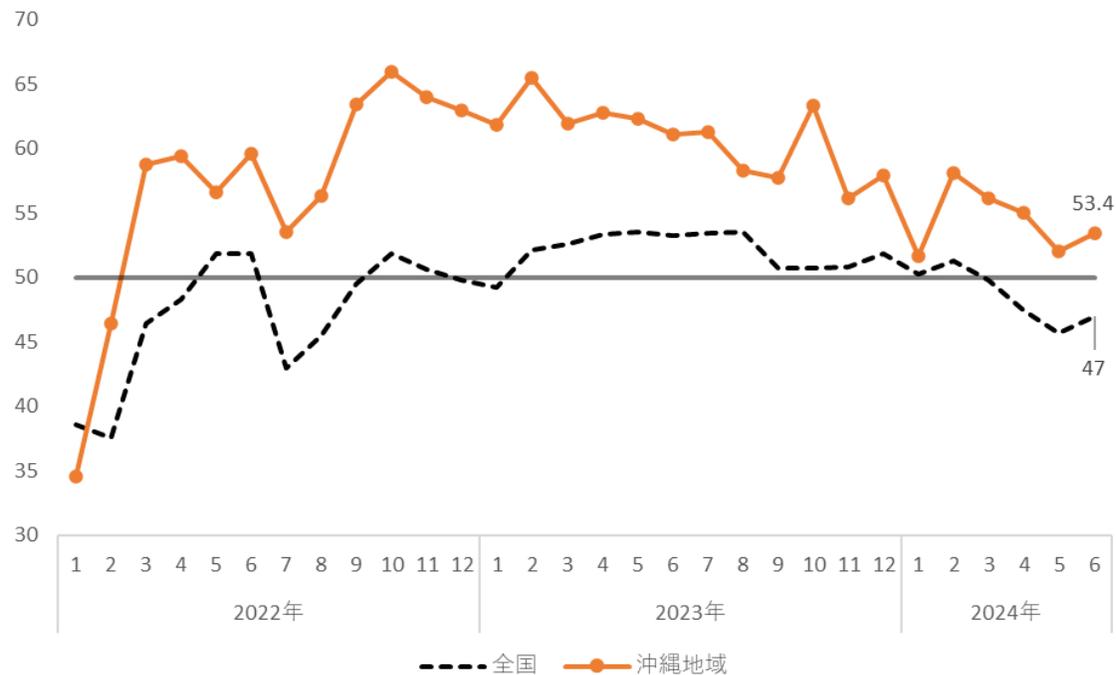
※本資料は、7月8日に内閣府が公表した「景気ウォッチャー調査」をもとに作成しています。詳細な結果は下記URLからご確認ください。

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/2024/0708watcher/menu.html>

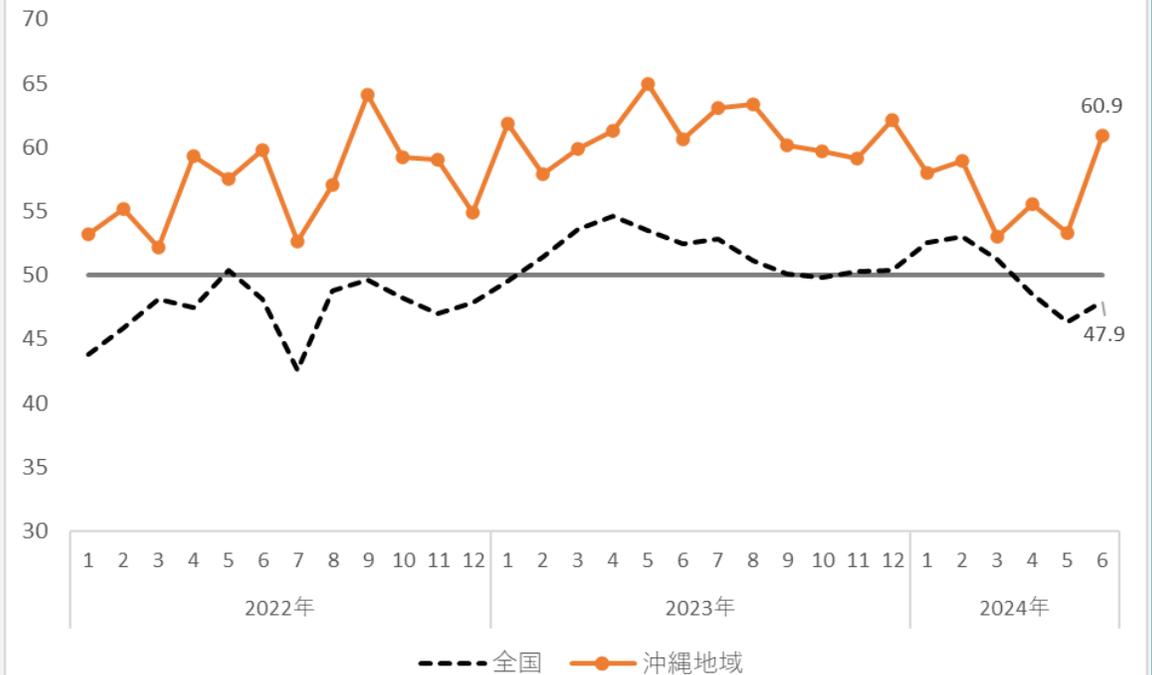
2024年6月調査DI値（季節調整値）

- 現状判断DI（季節調整値）は、3月以降に好況感が下降傾向であったものの、6月には前月比1.4ポイント上昇の53.4と改善している。
- 先行き判断DI（季節調整値）は、昨年に比べ今年は下降傾向にあったものの、6月には前月比7.6ポイント上昇の60.9と改善している。
- 全国のDI値は、現状、先行き判断、共に好不調の判断基準となる50を3ヶ月以上連続で下回り、不調傾向にある。

現状判断DI値（季節調整）



先行き判断DI値（季節調整）



現状判断のコメント①

- 好況感を牽引しているのは家計動向関連で、梅雨の影響に加え、避難警報を伴う大雨による影響で客足が遠のくなど人流が滞っていたが、梅雨が明け天候が回復したことにより、人流が活発になってきている。
- ただし、物価上昇による値上げの影響で消費を抑える傾向もみられる。

<家計動向関連>

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、×：悪くなっている

◎	家電量販店（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> • 6月1日から沖縄県のおきなわ省エネ家電買換応援キャンペーンが始まり、省エネ家電には県がキャッシュレスポイントや商品券を付与している。キャンペーンの対象となっている冷蔵庫、エアコンを目的とした来客が大幅に増加している。また、梅雨明けでエアコンの販売が伸びている。
◎	観光型ホテル（企画担当）	<ul style="list-style-type: none"> • ホテルの3月の販売室数が前年比14%減少なのに対し、6月は前年比33%増加とプラスに転じている。
○	コンビニ（経営企画担当）	<ul style="list-style-type: none"> • 4月から雨の多い日が長らく続いたことにより、県内の人流は鈍く、特に行楽客が伸びていない。しかし、天候の回復に伴い、人流が活発になっていることが顕著に表れている。
○	衣料品専門店（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> • 6月後半の梅雨明けから来客数が増加している。夏本番ということと、夏休み前にホテルや飛行機の値段が上がる前に遊びに来たという観光客の声も多く聞かれる。
▲	コンビニ（副店長）	<ul style="list-style-type: none"> • 例年6月は梅雨もあり客足は見込めない時期である。実際、連日の警報級の大雨の影響で来客数は減少している。立地面で免税により、ある程度の売上は確保できたものの厳しい状況である。
×	その他飲食店 [バー] （経営者）	<ul style="list-style-type: none"> • 月の前半は梅雨の影響などもあったとみられるが、月の後半に梅雨明けしてからも人出は良くなる雰囲気はない。観光客は多いが地元の人動きは悪くなっている。

現状判断のコメント②

- 企業動向関連では、物価上昇の影響により好況感がなく、受注が大幅に減少するなどの影響が見受けられる。
- 雇用関連では、求人の減少や求人の問い合わせが受注に繋がらないなど、人手不足に関するコメントが多く見受けられた。

< 企業動向関連 >

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、×：悪くなっている

□	会計事務所（所長）	• 人口の流動化による経済活動は活発であるが、物価上昇などもあり、好況感はない。
▲	窯業土石業（取締役）	• 見積依頼は3か月前と比較すると、公共、民間とも大きな変化はなく横ばいの状況であるが、受注は大幅に減少している。

< 雇用関連 >

□	人材派遣会社（総務担当）	• 求人の問合せは多いが、受注にはつながらない。
□	職業安定所（職員）	• 観光シーズンを前に例年求人数が増加する時期だが、求人数の前年同月比が減少している。また、企業からも景気がプラスになるような声も聞こえない。ダブルワークを希望する高齢求職者も増加している状況から、景気は3か月前から変わらないとみられる。
▲	求人情報誌製作会社（営業）	• 例年どおりの動きではあるが、夏場を前に求人数は徐々に減少している。そのなかでも派遣業の求人数はやや増加している。

先行き判断のコメント①

- 夏に向けての需要増が見込まれる中、物価上昇の影響もあり、消費の先行きが不透明であるとの懸念もある。
- 8月から再開される国の電気、ガスへの補助金や沖縄県が実施しているおきなわ省エネ家電買換応援キャンペーンなどの制度により、先行きの需要増加への期待感もある。

<家計動向関連>

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、×：悪くなっている

◎ 家電量販店（営業担当）	• 2～3か月程度、おきなわ省エネ家電買換応援キャンペーンの効果があると予想している。
○ 旅行代理店（マネージャー）	• 企業消費は確実に増加している。ただ物価高もあり個人消費はまだまだ先行き不透明である。
○ 通信会社（営業担当）	• 9月は新商品の発売が予想されているので市場も活発になると期待している。現在落ち着いてしまっている状況も新商品を待つ買い控えとも考えられる。
□ コンビニ（経営企画担当）	• 電気、ガスの補助が8月から再開されることに期待したいが、物価が高く、消費意欲を上げることは難しい。沖縄では梅雨明けした6月下旬から電気代が上がっていくため、生活防衛の意識がますます高まるものとみられる。ただし、猛暑となる予報から夏物商材の需要は拡大するとみられる。
□ 観光型ホテル（代表取締役）	• 宿泊予約はこれから夏を迎え、夏休みなどもあり予約は少しずつ増えている。前年同期よりは増えているが、新型コロナウイルス感染症発生前の90%程度である飲食宴会に関しては、元々夏の時期は落ちる傾向があり増えていない。様々な経費が上がっているが、それをカバーするまでの売上にならないとみている。
▲ 住宅販売会社（取締役）	• 物価高、地価の高騰などでマイホーム需要が減少しており、厳しい状況が続いている。

先行き判断のコメント②

- 企業動向関連では、需要増も見込まれる中、人手不足や物価高騰、円安などの影響により先行きの不安感が見られる。
- 雇用関係では、求人数の動向は増加する見込みであるが、求職者の応募が少ない、企業から今後の景気について明るくなるような声が聞こえないなどの人手不足の解消に向けた先行きは見えてこない。

< 企業動向関連 >

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、×：悪くなっている

○ 食料品製造業（役員）	• 梅雨も明けこれからがお盆に向けて食品関連の売上増加が見込める。
○ 窯業土石業（取締役）	• 夏場以降、公共工事案件の増加が見込まれるが、開始時期の遅れ等多々あり、施工予定の管理に苦慮している。
□ 広告代理店（営業担当）	• 人材不足や物価高騰の経営課題が続くなか、県内企業の販売促進投資が増大する見込みが立たない。
▲ 会計事務所（所長）	• 為替が円安傾向で推移するとみられ物価上昇への不安感が強まり消費性向が弱いままである。

< 雇用関連 >

○ 求人情報誌制作会社（営業）	• 夏場は横ばいの求人数と考えているが、例年の求人数動向であれば9～10月は今よりも増加する見込みである。
□ 人材派遣会社（総務担当）	• 求人広告の閲覧件数は増加しているが、求職者の応募には至らない。
□ 職業安定所（職員）	• 求人を受付する場面で、企業から今後の景気について明るくなるような声が届いていない。